

校舎内壁新聞の発行を
今こそ NIE(Newspaper In Education)を

開倫塾
塾長 林 明夫

本日の読売新聞で報告された「石巻日々新聞」の記事は素晴らしいと思います。印刷機が動かない中、6日間手書きで壁新聞をつくり、胸までの水をかき分けて取材した結果を避難所等に掲示したそうです。

開倫塾でもこの記者魂を見習い、校長先生や先生方、事務職員が家で読んだ新聞記事の中でこの内容は塾生に読ませたいというものを切り取り、校舎内に場所を決めて毎日掲示することをお願いします。

塾生分コピーして、授業中に読み聞かせたり、感想を書かせたりするのもよい勉強になります。

やり方は自由で OK ですから、今こそ開倫塾の全校舎で NIE 活動を始めましょう。必ず塾生のためになります。よろしくをお願いします。

来年のあらゆるレベルの入試には、多くの科目で東日本大震災関係の問題が必ず出題されます。しっかりと現実を見て、自分の考えをもち、それを自分のことばで表現できるようにしておかないと、得点できません。

非受験学年も、学校の試験にこの関係の問題が必ず出され、また、授業中やホームルームでも必ず話題になります。受験生同様、新聞をしっかり読み、自分の考えをもつことが小1～高3までの全学年で求められます。

開倫塾の全ての校舎で、新聞を用いた教育を春期講習会から全クラスで必ず展開して下さい。よろしくをお願いします。

* 以上の NIE(新聞を教育へ)に限らず、この時期だからできる開倫塾での教育は山ほどあります。学年末や計画停電による学校の早帰り、大震災のため多くの部活動が休止ないし短縮の状況ですから、普段より多くの時間家で勉強することが不得意な塾生は開倫塾で勉強できます。本人や保護者とよく相談して、開倫塾で勉強したい塾生には「時間の概念」を取り払って思い切り、また、好きなだけ開倫塾で勉強させ、学力をどんどん身につけさせてあげて下さい。

以上